



上越地域医療センター 病院の早期建設を！

本城 文夫（市民クラブ）



問／現在地での改築を決めてから6年。計画が遅れているが基本設計の見通しはどうか。

答／改築後の収支悪化が見込まれたことや、上越地域医療構想調整会議で労災病院の歯科口腔外科や回復期の入院などの受け入れ合意もあり、令和11年度の完成に向けて努力している。

市長の政治姿勢と公約・評価は

問／度重なる失言問題など市政の停滞感が目立つが、公約進捗状況と自己評価は。また市議会との向き合い方は。

答／市政運営に対する市民からの厳しい声をしっかりと受け止め、勇気を持って決断実行する。各施策を進める際には共感いただくよう説明を重ねる。8つの政策プロジェクトの調査・検討し、43項目を着手している。評価は私自身ではなく市民の皆さんからいただくもの。議会とは対等な立場で尊重し合う関係を築きたい。

地域協議会の方向性は

問／地域自治推進プロジェクトの中で、どのように検討しているのか。結果を地域協議会に公表すべき。改選後の地域協議会への期待は。

答／地域自治制度設計に反映したい。地域からの調査結果も合わせて検討資料を示したい。地域の意見を審議し課題解決してほしい。



大切な健康診断 「心」は健康ですか？ ストラットン恵美子（久比岐野）



問／小中学校の「心の健康診断」でメンタルヘルス予防や改善に役立つアプリ導入の考えは。

答／一人一台タブレット端末で学校独自にアプリ活用を始めた中学校もある。その他の支援と合わせ、日々のデータ蓄積で生徒の心の変化やSOSに気づける当該アプリの活用状況や成果を踏まえ、小中学校への展開を研究する。

廃校利活用で地方創生を狙った仕掛けを！

問／廃校利活用に向けた今後の取組みは。

答／建物の構造や規模、老朽化の度合いや立地条件など様々であり、地域や民間事業者の需要とすぐにマッチングすることは少ない。各種法令への適合や手続き、改修などの課題もあり、関係部局間の連携を密にし、意を用いていく。

問／廃校活用した福祉交流施設の設置検討は。

答／福祉活動の拠点となる施設を探す団体へは廃校を含めた空き施設を紹介するなど個別ニーズに対応している。



海岸美化に努める当市の積極性をPR

問／国際環境認証「ブルーフラッグ」取得は。

答／認証は難しいが、地元町内会やボランティア団体が海岸清掃などの活動を行い、普及の輪を広げている。市民の環境美化・保全に対する意識向上、地域の愛着が一層深まるよう努める。



新型コロナウイルスワクチン 後遺症 伊崎 博幸（無所属）



問／新型コロナウイルスワクチン（mRNAワクチン）接種後の副反応に関し、全国で予防接種健康被害救済制度を申請する人が激増している事実があるが、認定された市民に申請費用の一部を支援する考えは。

答／市が独自に支援を行う考えはない。

切れ目ない子育て支援

問／0～2歳児の保育料無償化を検討しては。

答／現時点で具体的な見通しを述べることは難しい。

問／悪天候でも屋内で遊べる場所が少ないという市民要望への対応は。

答／市内25か所に子育て広場を開設している。図書館やリージョンプラザなどもある。現時点で、新たな施設の設備や既存施設の改修の考えはない。

金谷山スーパーボブスレーのリフト

問／金谷山ボブスレーのリフトに未就学児は乗車不可だが二人乗りリフトに改修する考えはないか。

答／安全性が確保できない中で乗車可能年齢を拡大することはできないが、地域の方々と共に金谷山公園の在り方を議論する中で、今後の対応について検討していく。